

作業前

『事前打合せ』を行い
安全に作業を行いましょう

吊り下には、絶対に入らないこと…

「逃げ場」の確保

機械に巻き込まれ、男性死亡

金属を削るボーリング機械で作業中、
ドリル部分に巻き込まれた

2020/8/5(水) 7:56

4日午前8時25分ごろ、埼玉県の金属加工会社で、社長から「従業員が機械の回転に巻き込まれた」と119番があった。同社社員の男性（73）が腹などから出血し、搬送先の病院で死亡が確認された。警察によると、男性は金属を削るボーリング機械で作業中、何らかの原因でドリル部分に巻き込まれた。ドリルは長さ約25センチ、太さ約5センチで先端に刃が付いている。男性は一人で作業しており、「ドン」という音がして、近くにいた作業員が機械の方を見たところ、男性が倒れていたという。署は男性が誤って巻き込まれた可能性があるとして原因などを調べている。

クレーンで吊っていた 「パイルオーガー」が、転倒 車3台が破損

2020/8/5(水) 5:55

4日午後2時半ごろ、三重県の道路の工事現場で、高さ16メートルあまりの建設機械が転倒し、近くの駐車場に停まっていた乗用車3台が破損しました。当時、乗用車には乗っていた人はおらず、ケガをした人はいませんでした。転倒したのは鋼矢板を地面に打ち込む「パイルオーガー」という建設機械で、遠隔操作で作業中に倒れたということです。